

つる丸瓦版

鶴見エリアブログ
つる丸電子版
はこちら ↓↓↓



センターコーナー

多摩川河口 干潟観察会



鶴見地区くまぐまうまYummy しんぶん びりびり

4月23日(日)に鶴見公会堂で、「しんぶんびりびり」を開催しました。新聞に体当たりして、くぐってびりびりに破いて楽しんで、その上にゴロゴロしている子に新聞紙をかけてみたり、潜ってみたり。パルシステムのカタログもびりびりしたので、商品を吟味していたり。それぞれ思い思いに遊んでいました。そしてみんなビニール袋に詰めて片付け。大きな袋の中に入れて、新聞紙を押し込んで楽しんでいました。そのあとはエプロンシアター。みんな食い入るように見てくれていました。



『三匹のやぎのながらがらどん』とリクエストで、『おおきなかぶ』をやりました。こちらは、前回の「親子であそぼう」企画でやったおはなしなので、みんな楽しんでくれました。いっしょに「うんとこしょ。どっこいしょ」と何回も掛け声をかけて、最後にかぶが抜けました。ふだん働いていて、日曜日に参加できる企画がありうれしかった。子どももたくさん遊べて楽しそうだったし、親もとても楽しかったといっていた。うれしかったです。定期的にしんぶんびりびりができたらいいなと思っています。開催が決定いたしましたら、鶴見エリアブログで発表いたしますのでどうぞお越しください。

また、いっしょに活動してみたい方、興味があるという方は、エリア活動推進課までご連絡お待ちしております。
(喜久川)

年間おすすめ商品 【恩納もずく】

最近、サンゴの白化現象についてニュースでも耳にする方はたくさんいらっしゃると思います。サンゴは「命のゆりかご」とも言われるほど、サンゴが無くなると、海の生きものうちの、4分の1の種類が生きていけなくなるといわれています。そんななか、パルシステムでも産地の恩納村漁協、もずく加工メーカーの(株)井ゲタ竹内と協力して商品化した『恩納もずく』というオリジナル商品があります。強いぬめりと歯ごたえのよさを併せ持つもずくの新品種です。『恩納村の早採れ糸もずく』と併せて、利用代金の一部を「サンゴの森づくり」の費用にあてています。下のQRコードから、パルシステムの里海づくり取り組みについてわかりやすい動画もみることができます。みなさんぜひご覧ください。

みなさんぜひご覧ください。

(なかお)

～ほんもの実感/私は選ぶ～『恩納もずく』

鶴見エリア経営会議の年間おすすめ商品『恩納もずく』の紹介動画を公開しています。ご覧いただき、ぜひ一度お試しください。



パルシステム 恩納もずく

検索

多摩川河口 干潟観察会

4月30日(日)、大師河原水防センター干潟にて、「多摩川河口干潟観察会」が行われました。干潟とは、海の水が引いたとき、泥や砂が陸地となって現れる場所のことです。



多摩川は、東京湾最大の河口干潟で、淡水と海水が混じり合うため、さまざまな生きものたちを観察することが出来ます。

はっぴりんぐ 神奈川地区くまぐま

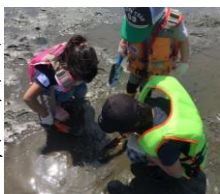
今年の3月、1歳児のママたちで「はっぴりんぐ」というくまぐまを結成しました。

1歳の子どもの生活はとても大変です。話すことはもちろんできませんし、少し目を離すと危険な場面なんてことも多々ありハラハラドキドキの毎日です。そんな大変なかでも気軽に楽しく子育てをしていきたいなと思います。『はっぴりんぐ』を結成しました。

子どもといっしょに楽しめる企画や、反対に子どもがいると思う存分できない料理や洋裁の企画など、子育てママたちが楽しめるイベントを企画していこうと思っています。同じような思いの方、いっしょに活動してみませんか? ご連絡お待ちしております。

(鈴木)

子どもたちとスコップや網を片手に観察をしていくと、カニやシジミ、ゴカイにチチブなどの水中の生きものから、それらをエサにする鳥類がいたりと本当にさまざまな生きものたちがいて、おとなも夢中になって楽しめました。



今回はじめて多摩川河口へ行きました。都会の中とは思えないほど自然豊かです。とても気持ちの良いところでした。これからもこの自然と共存していけるように、少しでも環境にやさしい石けんの輪が広がればいいなと思いました。

(加藤)